

令和 7年度予算見積調書

課室名: 人権・男女共同参画課

担当名: 男女共同参画担当

内線: 2926

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P20	ジェンダー主流化推進事業費			一般会計	総務費	県民費	男女共同参画推進費	男女共同参画推進事業費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	男女共同参画社会基本法、埼玉県男女共同参画推進条例 埼玉県男女共同参画推進センター条例		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	5	
					分野施策	0702	女性の活躍推進と男女共同参画の推進	SDGsターゲット	5-1, 5-5, 5-c	
1 事業概要	<p>あらゆる分野にジェンダー視点を取り入れ、各主体が男女格差がないか点検し、その格差の解消に取り組むことにより、男性も女性も暮らしやすい社会であるジェンダー平等の達成を目指す。</p> <p>企業・団体、市町村等のジェンダー主流化推進事業 693千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 企業・団体、市町村等のジェンダー主流化推進事業 693千円 ジェンダー平等の視点をあらゆる事業や政策に反映するため、企業・団体、市町村等が「ジェンダー主流化」の必要性や効果、事業点検の手法を習得し、実践できるようセミナーを実施する。</p> <p>(2) 事業計画 企業・団体、市町村等に対してジェンダー主流化に関するセミナーを実施する。 ア 企業・団体向けセミナー 1回 企業の経営者や社員等がジェンダー主流化の趣旨を反映した製品やサービス開発の先進事例を学び、新たなビジネスチャンスについて考えるセミナーを開催する。 イ 市町村向けセミナー 1回 全国の自治体におけるジェンダー主流化の先進事例を学び、市町村で実施可能な施策について意見交換を行うセミナーを開催する。</p> <p>(3) 事業効果 ジェンダー平等の観点が企業・団体、市町村等のあらゆる事業や政策に反映され、実践されることで、本県におけるジェンダー平等の推進が図られる。 【活動指標(アウトプット)】セミナーの開催 2回 【成果指標(アウトカム)】「ジェンダー主流化」の取組を進めていきたいと回答するセミナー受講者の割合 令和6年度 49% → 令和8年度 70%</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		諸収入								
決定額	693							693	△128	
前年額	821	1						820		

事業内訳書

事業名	ジェンダー主流化推進事業費		
単位事業名	ジェンダー主流化推進事業	予算額	693千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	0	△1	
一般財源	693	△127	
合計	693	△128	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	210	△210	講師謝金
旅費	28	0	連絡調整旅費
需用費	108	△84	消耗品
役務費	296	164	郵便代
委託料	0	△49	

単位事業名	ジェンダー主流化推進事業	予算額	693千円
-------	--------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	51	51	会場借上代
合計	693	△128	